濟生みと

No. 36

2019
Winter

特集

TOPICS

心臓弁膜症に対する新たな治療

TAVR

経カテーテル大動脈弁置換術 県央でついに開始！

写真 TAVRを担当する当院ハートチーム

濟生会ハートチームによる新たな取り組み

私達は、患者さんの悩み、苦しみに共感し
安全に十分配慮しながら、良質の医療を提供します

私たちの役割

水戸済生会総合病院

副院長 兼心臓血管外科主任部長 **倉岡 節夫**

地球温暖化に伴う気候変動を原因とする多くの災害を頻繁に経験する日本になったことに心を痛めます。被災された地域の皆様には謹んでお見舞い申し上げると共に、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

幸い大きな損害なく経過している当院では職員の防災の意識、怠りなき備えの心構えと協力を深く感謝します。日々私達は快適な環境の中で、多職種協力の明るい声のもとに充実した診療に邁進することができることに深く感謝申し上げます。これはひとえに患者さんとその御家族の皆様の御理解御協力の賜物です。

人口減少が進む中でも日本人のスポーツ界には明るい話題が増加しています。ラグビーやバスケットボール、テニスの世界でも選手の若年化と国際化が進行し、日本も欧米と同様に多国籍化、グローバル化が浸透しています。そのスポーツマンシップも美しく、しばしば発せられる災害被災者への勇気付け、爽やかなメッセージや救援活動に感動いたします。

医療は日々新しい診断方法や治療方法が進歩しています。私達職員も医療の進歩に遅れないように研鑽しています。新しい診療技術の習得には多くのハードルを越えていかねばなりません。専門医資格取得のための勉強の

他に、複数の専門科医師とコメディカルが一致団結協力して何度も修練を繰り返します。しばしば設備改築のために鈍音が響き入院患者の皆様には御迷惑をおかけしておりますが、これは病院の生まれ変わる鼓動の音と御理解御容赦願います。時には思わしくない結果に至ってしまうと失意と過労のために挫けそうになりますが、周囲の職員の励ましによって回生します。必ず原因を探求して次に活かせるように治療手技に改良を重ねていきます。

現在私達が普通に苦勞なく実施している診療も、かつて多くの犠牲と努力の上に生まれたものです。私達は今それを継承して次世代にはより改良したもの、より良い治療法として伝えていく義務があります。より低侵襲で有効な新しい治療方法は患者さん皆様の幸福につながるばかりではなく未来を明るくするものです。患者さん皆様が健康を回復して幸福になれば医療者側の私達もやりがいと幸福を得ることができます。そのために私達は勇気と努力を怠らないようにいたします。どうか皆様には当院の将来に寛大な御心を持って見守って頂き、そして発展に期待して頂きたいと願っております。

台風 15 号・19 号の被災地で医療支援

今秋襲来した 2 つの台風、15 号、19 号の直撃を受けて国内各地で大きな被害が発生し、本県でも過去に例を見ないほどの降雨により甚大な被害を受けました。
このため、当院では、DMAT（災害派遣

医療チーム）2 隊が県の要請を受けて被災地に出動したのをはじめ、救急医や看護師、薬剤師などが何度も被災地へ行き、被災者救護体制の構築や被災者の診療、搬送にあたりました。

千葉県君津市 台風 15 号

台風 15 号関連では、千葉県の被災地である君津に出動、活動拠点本部となった君津中央病院で、浸水した病院からの移送患者約 100 人の診療や他医療機関への移送関連業務に当たりました。
左：活動拠点本部事務局の様子
下：当院派遣のチーム

大子町 台風 19 号

大子町では中心市街地にある主な病院全てが被災し、診療活動が不能に。派遣スタッフで救護所の設置を提案し、対応できる医師、看護スタッフなどの参集や応急設備の調達などを支援しました。また、救護所では多くの患者さんの診療や薬の手配を行うと共に、被災者の健康管理に努めました。
右 3 点：被災した病院。CT など高価な機器も浸水で被害に。
下：薬局なども全てが被災し、薬の処方が一時的に困難になりました。

「県央地域において初めてTAVR（経カテーテル大動脈弁置換術）が施行可能となりました」

TAVR（タビ）とは？

現在まで茨城県の県央地域においてTAVR（経カテーテル的大動脈弁置換術）が受けられる施設はありませんでしたが、いよいよ当院でTAVRが施行可能となりました。TAVRとは、大動脈弁狭窄症（心臓弁膜症）に対する新しい治療法です。TAVRは胸を開かず、心臓が動いている状態で、足の付け根などに開けた小さな穴からカテーテルという管（くだ）を使って人工弁を心臓まで運び、留置する新しい治療法で、体に対する負担がとても小さいことが特徴です。このためTAVRを受けた患者さんは従来の治療よりも早期に退院が可能となり、体力を低下させることなく日常生活や、社会復帰が可能となります。

TAVR施行に必要な施設認定には厳格な基準があります。それは、1年間の心臓外科手術や心臓カテーテル治療数、心臓エコーの検査数、循環器内科および心臓血管外科の専門医数、手術室の設備、治療を担うチーム（ハートチーム）の協力体制などが含まれ、当院はこれらの厳格な基準を全て満たし、今回TAVRの施設認定となりました。

水戸済生会総合病院
循環器内科 部長 山田 典弘

TAVRに使用される人工弁

大動脈弁狭窄症（AS）とは？

心臓は4つの部屋からなり、それぞれの部屋は弁という扉でしきられています。酸素をたくさん含んだ血液を心臓が全身へ送り出す際の最後の扉が大動脈弁です。加齢や動脈硬化などが原因でこの弁が硬く開きにくくなり、全身に血液が十分に送り出されなくなる病気が大動脈弁狭窄症です。進行すると胸の痛み（狭心痛）、失神、息切れ（心不全症状）といった症状があらわれ、そのまま放置すると突然死に至ることもある病気です。通常、薬の治療で改善することはなく、年月とともに悪化していきます。大動脈弁狭窄症は無症状での経過期間が長い病気ですが、いったん症状があらわれた患者さんの半数は2年以内に命を落とすという統計データがあります。

TAVRに関する詳細や患者さんのご紹介に関しては、病院ホームページのTAVR特設サイトをご覧ください

ハイブリッドカテーテル室でのハイブリッド治療

当院では2016年よりカテーテル治療と心臓血管外科手術を同時に施行できるハイブリッドカテーテル室を稼働させています。TAVRはこのハイブリッドカテーテル室で行われます。TAVR以外では、大動脈瘤の治療である大動脈ステントグラフト内挿術や、閉塞性動脈硬化症に対するバイパス手術など、カテーテル治療と外科手術が同時に必要な症例がハイブリッドカテーテル室で行われています。多くの場合、心臓外科医と循環器科医（カテーテル治療医）が同時に術者となり、互いに協力し、その長所を生かし合いながら治療を行っています。また当院ではその他、心臓・血管カテーテル室を2室完備し、緊急治療を含めて数多くのカテーテル治療を行っています。

ハイブリッドカテーテル室の血管造影装置

多職種により編成される済生会ハートチーム

TAVRは医師だけでは完成しません。医師以外の医療のプロフェッショナル達が協力してできる「ハートチーム」により術前評価および実際の手術がおこなわれます。以下がTAVR実施に関わる当院のハートチームメンバーの実施責任者です。

〈TAVR実施責任者〉

- 心臓血管外科： 倉岡節夫、篠永真弓
- 循環器内科： 山田典弘、石橋真由（術中心エコー担当）、川原有貴
- 麻酔科： 前田良太、熊田有紀
- ハイブリッドカテ室看護師： 来栖麻美、内藤雄基
- 臨床工学技士： 石川淳也、佐伯真之介、田口晴子
- 放射線技師（実施責任者）： 菅谷益巳、田口祐蔵、高野秀喜、大内啓之
- 放射線技師（画像解析班）： 黒羽克英、佐々木允
- 臨床検査技師（心臓エコー）： 宮田忠明

また治療後は、集中治療室（ICU）の看護師、循環器病棟の看護師による術後管理が行われます。加えて理学療法士によるリハビリテーション、更にソーシャルワーカーも介入し、患者さんの退院後の生活や社会復帰に向けて一丸となりサポートしていきます。

心臓カテーテル治療中

当院が県内4番目のインペラ（IMPELLA）実施施設として認定

今回施設認定を通過したもう一つの新しい治療としてインペラという補助循環用ポンプカテーテルによる治療があります。これは薬物治療抵抗性の急性左心不全、循環不全に対し、従来の補助循環のみでは治療が不十分な症例に対する新たな補助循環装置です。この新たな治療により、心臓の状態が著しく低下し、これまでの治療では救命困難とされた症例においても、救命率の向上が期待できます。現在はまだ実施にはいたっておりませんが、今後当院での導入を検討していく予定です。

インペラ（補助循環用ポンプカテーテル）

TAVRに関する詳細や患者さんのご紹介に関しては、病院ホームページのTAVR特設サイトをご覧ください

水戸市医師会・連携医療機関との懇談会を開催しました

水戸済生会総合病院
地域医療連携室長 石井 篤司

7月21日、水戸市内のホテルを会場に、「第6回 水戸市医師会病棟・水戸済生会総合病院連携医合同懇談会」を開催しました。

この懇談会は、当院と連携して地域医療に取り組んでおられる医療機関の先生方をお招きしてお互いの交流を深め、診療連携の向上に資する目的で開催しています。

また、当院が、地域開放型病棟の先駆けとして整備した「水戸市医師会病棟」が開棟から30周年を迎えたことから、今回はこれを記念する趣旨も含めた催しとしました。

会場には、水戸市医師会をはじめ、近隣の医療圏から100人余の先生方に足を運んでいただきました。加えて、日頃救急医療で繋がりの深い地域消防本部救急隊の方々にもご参加いただきました。

開会后、講演や現況報告に真摯に耳を傾けていた方々も、懇談会ではリラックスして会話に加わり、和やかな雰囲気の中で交流の輪が広がりました。

当院では、今後もこの懇談会を継続して開催し、パートナーである医療機関の皆様との交流をさらに深めていきたいと考えています。

会のはじめに当院の生澤義輔 病院長（上左）が主催者として挨拶。来賓の皆様を代表して、水戸市医師会の原 毅 会長（上中）からご挨拶をいただきました。

懇談に先立ち、当院の地域医療支援部長を務めている海老原 至 副院長（上左）が「地域医療連携の現状について」と題し現況を報告、次いで、前水戸市医師会病棟部長の高橋 實 先生（上右）から「（開放型）水戸市医師会病棟30年の回顧」の演題でご講演いただきました。

会場各所で会話を楽しむ方々の輪が揺れ動き、参加された方々は皆、ゆったりとした雰囲気を楽しみながら大いに交流を深められました。

高木整形外科は、内科も始めました

今回高木内科整形外科医院院長に就任しました 高木 泰 です。私の父である 高木 俊男 医師が 1972 年（昭和 47 年）に開業した高木整形外科医院は、2019 年（令和元年）7 月に高木内科整形外科医院としてリニューアル開院し、今回 4 人兄弟の末っ子である私が院長に就任しました。

高木整形外科医院は開業と同時に、現在は水戸市となった内原にハイトリースポーツクラブを創設し、1982 年には医院横にミニサッカーコートに創設し、主にサッカーを通じて地域の方々と交流を深めてまいりました。私自身も地元の上中妻小学校時代は、サッカー少年団の仲間と夜遅くまでこのコートでボールを蹴る日々でした。私は心臓を専門とする循環器内科医で、今まで神奈川の病院で心臓カテーテル治療やペースメーカー治療などに携わってきました。不整脈の一分野である失神も私の得意分野ですが、心臓に限らず内科的などんな症状でもお気軽にご相談ください。

済生会総合病院は循環器内科分野で心房細動のカテーテル治療や、心臓弁膜症のカテーテル治療などで今後ますます発展していくことと思います。私の医院では、そのような治療が必要な方をしっかりと診断して済生会病院に紹介し、治療後落ち着ついた段階で再度フォローを継続するような形で地域連携型医療に貢献したいと考えています。また父が担当する整形外科も今まで通り診療を行なっていますので、そちらの方も引き続きよろしくお願致します。

内科 診療時間

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
午後 14:00 ~ 18:00	●	●	●	-	●	-

整形外科 診療時間

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
午後 14:00 ~ 17:30	●	●	●	-	●	-

休診日：木曜午後、土曜午後、日曜祝日

医療法人社団ベル会

高木内科整形外科医院

院長 高木 泰 先生

診療科目 循環器内科・内科
整形外科

〒311-4143 水戸市大塚町 1504-1

電話 029-251-8038

ホームページ <http://www.takaginaika.com/>

水戸市医師会病棟・水戸済生会総合病院 症例検討会のご案内

会場：新館 5 階 丹野ホール

日時：毎月第 1 水曜日（1 月・5 月休会）、毎回午後 7 時に開会します。

但し、2 月・5 月は CPC がテーマのため、午後 7 時 15 分開会となります。

内容： 1 症例検討

2 スモールレクチャー（毎年 12 月は外部講師による講演）

* この検討会に出席された方には生涯教育講座参加証を発行しています。

参加についてのお問い合わせは → 地域医療連携室 まで 029-254-5151 (病)

外来診療のご案内

◆ 令和元年 12月2日現在

診療科		月	火	水	木	金	
内科 受付 (8:30 ~ 11:30)	初診	1診	青木 (消化器)	郡司 (腎臓)	荷見 (腎臓)	千葉 (循環器)	佐藤 (腎臓)
		2診	柏村 (消化器)	金野 (消化器)	大川原 (消化器)	高橋 (消化器)	宗像 (消化器)
		3診	樋口 (循環器)	山田 (循環器) 午後: ICD (循環器)	川原 (循環器)	大平 (循環器)	大津 (循環器)
		4診	午後: 腹膜透析外来 (再)	午前: 武田 (神経) 午後: 腹膜透析外来 (再)	第1・3午前 村田 (循環器) 第1・2・4・5午後 青沼 (不整脈外来)	第4午前 川上 (糖尿病・代謝内科) 午後 青沼 (不整脈外来)	樋口 (循環器) 再診
	再診	1診	/	仁平 (消化器)	第2・4は午前のみ 高橋 (消化器) 第2・4午後 渡辺 (消化器)	午前 大川原 (消化器)	柏村 (消化器)
		2診	午前: 山田 (循環器) 午後: 藤沼 (循環器)	長山 (血液) 再来のみ	午前川松 (ACHD 外来) 午後會澤 (循環器)	午前 石垣: (代謝内科) GDM (産科複券患者のみ)	長山 (血液) 再来のみ
		3診	午前 土橋 (糖尿病・代謝内科) 第3午後堀米 (ACHD 外来)	午後 大津 (循環器)	午前 金野 (消化器)	午前 土橋 (糖尿病・代謝内科)	午前 川原 (循環器)
		4診	午前: 中山 (消化器)	午前: 青木 (消化器)	仁平 (消化器)	午前: 宗像 (消化器)	萩原 (膠原病)
		循環器内科	石橋 (循環器)	大平 (循環器)	千葉 (循環器)	午前: 藤沼 (循環器)	午後: 青沼 (不整脈外来)
		腎臓内科	黒澤 (腎臓)	椎名 (腎臓)	海老原 (腎臓)	佐藤 (腎臓)	郡司 (腎臓)
		糖尿病内科	/	午前 土橋 (糖尿病・代謝内科)	午前 土橋 (糖尿病・代謝内科)	/	/
		外科 受付 (8:30 ~ 10:30)	午前	高久 春日	/	田野井	高久・東 高久
午後	予約制	/	/	第2・4禁煙外来	/		
心臓血管外科 呼吸器外科 受付 (8:30 ~ 11:30)	1診	倉持	倉岡	篠永	(休診)	三富	
特診	/	/	/	/	第2・4 筑波大学 呼吸器外科教授 佐藤 幸夫		
小児科 受付 (8:30 ~ 11:30) 予約は慢性疾患のみ	午前	内谷	塚田 (裕)	内谷	塚田 (裕)	内谷	
午後	/	(予約制) 健診受付 (14:00 ~ 14:30) 予防接種 (14:30 ~ 15:00)	内谷 (予約制)	/	/	内谷 (予約制)	
整形外科 受付 (8:30 ~ 11:00)	午前	1診 秋山 2診 細野 3診 野村	星 木村 生澤	島田 佐藤 野村	細野 星 秋山	佐藤 島田 生澤	
午後	専門外来 (生澤 (関節外科))	/	/	野村 (脊椎外科)	/	/	
形成外科 受付 (8:30 ~ 11:30) 午後 (15:00 ~ 16:00)	初診	手口	藤田	第1.3.5 藤田 第2.4 佐々木	藤田	手口	
再診	芳賀	芳賀 (第4中山)	手術	手術	手術	手口 (再診のみ)	
脳神経外科 受付 (8:30 ~ 11:30)	1診	森	森	/	塚田 (和)	森	
2診	井口	/	井口	井口	山田		
皮膚科 受付 (8:30 ~ 10:30)	午前	神崎・高向	神崎・高向	/	神崎・高向	神崎・高向	
午後	予約	予約	/	予約	予約		
泌尿器科	1診	池田	宮永	山口	宮永	宮永	
2診	/	福原	福原	山口	/		
受付 月・金曜日 (8:30 ~ 10:30) 火・水・木曜日 (8:30 ~ 11:00)							
産婦人科 受付 (8:30 ~ 11:00)	午前	初診予約外	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師
		産科	加藤	佐々木	山田	人見	中村
		婦人科	島・中村	益田	加藤	東・山田	佐々木
	午後	産科①	遺伝・NIPT	母乳・産褥外来	母乳・産褥外来	遺伝・NIPT	母乳・産褥外来
		産科②	母乳・産褥外来	自己血貯血	東	胎児	1ヶ月健診
専門外来1	藤木	益田	人見	胎児	1ヶ月健診		
専門外来2	佐藤	自己血貯血	自己血貯血予備日	胎児	1ヶ月健診		
眼科 受付 (8:30 ~ 11:30)	午前	加畑	加畑	田崎	加畑	村上	
/	/	高木	/	高木	高木		
/	湯川	/	湯川	/	湯川		
耳鼻咽喉科	午前 (8:30 ~ 11:00)	菅野	田中	松下	宮部	宮部	
午後 (14:00 ~ 15:30)	菅野	田中	松下	/	宮部		
ペインクリニック 受付 (8:30 ~ 10:30)	午前	熊田	前田	大久保	大和田	奥山	
初診は、紹介状持参の方、当科1年以内に受診のある方のみ。							
歯科口腔外科	午前 (8:30 ~ 11:00)	武内・飯坂	武内・飯坂	武内 (第1.3.5)・飯坂	佐藤・飯坂	武内・飯坂	
	午後 (13:30 ~ 15:00)	/	/	武内・飯坂	佐藤 (予約のみ)	/	
放射線科	血管内治療	予約制	/	/	遠田 (不定期)	/	
	放射線治療	/	橋本	/	唐澤 (不定期)	/	
緩和ケア	14:00 ~ 16:00 (完全予約制)	/	吉村	吉村	吉村	吉村	
(予約制) 予約は緩和ケア外来 → 病棟 電話 029-254-9165 (直通) まで							

■ 専門科の救急対応、緊急手術などにより、担当医師・診療時間を予告なく変更する場合があります。

■ 診療についての詳細は当院ホームページをご覧ください。 (<http://www.mito-saisei.jp>)